



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター
電話：072-838-0400
URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

おもな Contents :

- ボランティアグループ紹介
～移送サービス「レインボー」～
- シニアのための「傾聴ボランティア講座」
- 傾聴基礎講座



23 校区の部会長出席のもと、活発な意見や質問が飛び交い、各校区の活動の広さがうかがえる部会長会
＝ 保健福祉センター会議室1・2で

誇りを持った活動に向けて

ボランティア部会長会のおもい

社協には、各小学校区にボランティア部会があります。それぞれの部会は主に高齢者サロン・子育て支援・個別援助などの活動を担っています。また、部会の代表で部会長会が組織されています。

ボランティア部会長会は、年6回偶数月に23校区の部会長が集まって開かれます。

今回は同会会長の竹林久恵さんに会議のようすを話していただきました。

「まず、役員会（各コミセンエリアから選出された代表6人で構成）で話し合う課題を決めて、担当職員を含めて検討し部会長会に臨みます。

部会長会ではそれに対して各自で意見を出し合います。

☆ボランティア相談員も出席☆

部会長会には、ボランティア相談員も出席して、活動内容を聞いたり、需給調整の実情などの情報交換をしたりしています。

す。次に、改善点など問題解決をはかることを目的としています。

各校区によって取り組み活動内容に違いもありますが、それぞれの特色として受け止めています。

毎回、肩肘はらず気軽に言葉を出し合える雰囲気にもなっています。また、そのやりとりから、各校区での取り組みも聞けるので、各校区でのようすもわかり、参考として各自の校区へ持ち帰り活かされることもあるようです。

『私は地域の中では、なくてはならない存在なのだ』との誇りを持ちながら、取り組むことができ、前進する力にもなるように思います。私自身、毎回そのような気持ちで部会の活動にも参加しております。』

ボランティアグループ紹介

移送サービスボランティア ～レインボー～



車いすユーザーが目的地に、乗車の際も細かい心遣いがうかがえます。

社協は平成8年、運転ボランティアの協力を得て、体が不自由で外出などが困難な方のための移送サービスをはじめました。同16年には「移送サービスボランティアグループ「レインボー」が誕生し現在に至っています。

当グループには「事務ボランティア」もあつて、利用者の行き先などに

ついでに資料づくりにあたっています。

「社協で保険にも加入しているの、安心して活動しています。みなさんの新しい力を待っています。地域の多くの人々に感謝される有意義な時間をみんなで共有してみませんか」と仲間が語ってくれました。

□毎月1回連絡会
□車の愛称は「ほほえみさん」と「さわやかくん」です。

利用者のおえ

○車いすの時、点字ブロックやでこぼこの多い道は振動が大きく伝わりますが、注意深く避けてくださり快適に移動できます。
○おかげさまで、地域の「いきいきサロン」に参加できます。細かい気遣いに感謝しています。
○いつも優しく関わってくださり、とても助かっています。感謝です。

ただ今、登録受付中

ボランティアセンターでは、平成24年度の団体と個人登録の受付をしています。詳細は下記のとおりですので、継続登録・新規登録をご希望の方は当センターまで手続きをお願いします。

- 1. 登録期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日
 - 2. 提出期限：平成24年3月31日まで
 - 3. ボランティア保険の加入手続きは申請書の提出時、または活動開始時まで。
- くわしくは、事務局までお問い合わせください。電話 072-838-0400

V/Cが施設・団体向け説明会開催

1月23日、ボランティアセンターは「施設・団体向けボランティア依頼のコーディネート説明会」を開きました。

これは最近増加傾向の施設や団体からのボランティア依頼について、依頼者(施設・団体)・調整者(ボランティア相談員)・活動者(ボランティア相談員)・活動者(ボランティア相談員)三者間で需給調整をより円滑にするためのもので、17団体(24人)と相談員7人が出席し、説明や意見交換が進みました。

相談員のおえ
双方の事情などを話し合えたことで、共通認識ができました。今後の円滑な活動につながると思います。

**「聴く」「つなぐ」も大切
シニアのための
傾聴V講座**

1月27日、2月3日、10日、24日の4日間にわたり「シニアのための『傾聴』ボランティア講座」を開きました。

講師には、傾聴ボランティア「14の耳」代表の笹木庸子さんと寝屋川認知

症予防普及委員会「ほほえみ隊」代表の戸田正己さんを迎え、「傾聴ボランティアとは？認知症における傾聴の効能は？」について。

講義やロールプレイをとおしての講座に参加者は……

□人の思いに寄り添っながら聞き入る受講者
講師の話にメモをとりながら聞き入る受講者



て聴くことの難しさを実感しました。
□聞き手の表情やうなづきの大切さを学びました。
□事例とていねいな説明で認知症についてよく理解できました。
との感想を残しました。



ボランティア活動調整報告

【当ボランティアセンター取り扱い調整分（施設・団体に限定）】

月	活動日	活動先 [施設・団体]	活動分野	活動内容	人数	対応 [ボランティア・校区・団体]
12	1	グランダ 香里園	高齢者	行事援助	1	百楽の会
	1	スペシャルオリンピックス大阪	障害者	行事援助	2	個人
	3・10・21・22	グリーンヒル淳風	高齢者	行事援助	8	明和・東・明德宇谷・個人
	6	さくら草	身体障害者	訓練補助	2	成美
	6・20	デイサービス友遊	高齢者	行事援助	4	東
	13	つかさの家	高齢者	行事助援	4	個人
	15	筋難病 ひまわり会	障害者	訓練補助	1	中央
	15	グランダ 香里園	高齢者	行事援助	3	歌体操寝屋川グループ
	19	ボランティアセンター		通信折込	3	個人
	20	市健康増進課	乳幼児	保育	7	田井石津・和光・桜
	20	樹楽「団らんの家」香里園	高齢者	行事援助	1	個人
	20・21・22・23・24	寝屋川十字の園デイサービスセンター	高齢者	行事援助	10	個人
1	22	香西園デイセンター	高齢者	行事援助	8	ばらの会
	9・10	寿楽園うずまさ	高齢者	行動援助	6	第五
	10	寝屋川ケアセンターそよ風	高齢者	行事援助	1	百楽の会
	14・18・21・27	グリーンヒル淳風	高齢者	行事援助	8	明和・東・明德宇谷・個人
	15	新仁和寺自治会	高齢者	行事援助	4	夢楽らいぶ一座
	15	グランダ香里園	高齢者	行事援助	10	大阪睦会
	16	白井内科デイケア	高齢者	行事援助	8	ばらの会
	17	デイサービス友・遊	高齢者	行事援助	2	東
	19	筋難病 ひまわり会	障害者	訓練補助	1	中央
	19・26	スペシャルオリンピックス大阪	障害者	行事援助	3	個人
	24	デイサービス友・遊	高齢者	行事援助	7	河北民踊同好会
27	みいデイサービスセンター	高齢者	行事援助	4	夢楽らいぶ一座	

めく〜いはなし⑧ 優しさに国境なし

障害者の息子と2人でイタリアツアーに参加しました。

現地も20数年ぶりの寒波や積雪で大混乱。高速道路の閉鎖で列車での移動になりましたが、ツアーで一緒だったイタリア人の男性が、30以上のトランクを整理して、

イタリア人の優しさに感謝



ホームに着くと、リレーで下ろして運んでくださり、凍結した道では声かけや手をつないで助けてくださいました。寒くて大変でしたが、やさしい親切に囲まれて、心温まる旅になりました。(M)

「14の耳」が設立10周年の節目として、講座を開催できるだけでなく多くの市民が傾聴の基本を学び、地域での活動や社会参加につながることを、また傾聴ボランティア活動の普及、発展のためにとの願いを込めてのもです。
講師にNPO法人 Keicho ネット理事長の武藤圭子さんを迎え、1日か

「聴く」難しさ体感

傾聴基礎講座

2月13日、登録団体のネットワーク北河内・傾聴ボランティア「14の耳」主催で、傾聴基礎講座が開かれました。

〇充実した内容に、1日が短く感じられました。
〇「聴く」と「聞く」の違いがよくわかりました。
〇友達や家族の中でも意識して、日常的に傾聴を心がけるようにしたい。
〇話し相手の感情をつかむ

〇「聴く」と「聞く」の違いがよくわかりました。
〇友達や家族の中でも意識して、日常的に傾聴を心がけるようにしたい。
〇話し相手の感情をつかむ



話し手、聴き手、観察役でロールプレイをし、「聴く」を体感する受講者

あの大自然の恐怖から1年が経ちます▼これだけ文明の進んだ今日にあつて、なすすべのなかった瞬間を目の当たりに、人知のほかなさを▼同時に、ボランティアを含む関係者ひとり一人の力の集結で進みゆく復旧に人心の大なるを実感しています。(智)

窓明かり

- 内容：入居者の話し相手、車いす介助（移乗介助なし）
- 場所：サンセール香里園（介護付有料老人ホーム）
- 条件：ヘルパー2級以上の有資格者
- お問合せ：当会ボランティアセンターまで

TEL 072-838-0400

ボランティア募集しています